

日本縦断走り旅の出発にあたって

越田 信 2013年9月14日記す

宗谷岬に行くのは何回目だろうか。稚内は母の故郷であり、親戚も住んでいたため、子供の頃から訪れる機会が何度もあり、中学生の時に宗谷岬に行った記憶は鮮明に残っている。第1回・第2回北海道縦断遠足(1997年と1998年)のゴール地点は宗谷岬だった。1998年年末から2000年12月までの2年間をかけて、北海道最北端の宗谷岬と沖縄本島のほぼ最南端の喜屋武岬までを浅井さんなどと一緒に行った。その走り旅では、2000年8月12日に函館をスタートし、20日に宗谷岬に達した(651.1km)。したがって、宗谷岬に立つのは、今回の走り旅で少なくとも5回目となる。13年ぶりの宗谷岬はどのように迎えてくれるだろうか。8月でも涼しかったので、9月はかなり涼しいに違いない。樺太が見えるほど好天で空気が澄んでいることを願う。

今回の走り旅では6日目(9月26日)に、高校2・3年の時に住んでいた砂川を通過する。高校時代の同級生がコース沿いに住んでおり、応援してくれるかもしれない。学生時代に住んでいた札幌は7日目に通過する。10日目(9月29日)には、父親の故郷である蘭越を通過し、羊蹄山を望みながら走るようになる。13日目(10月2日)に到達する函館は、母が育った街であり、中学校の修学旅行で函館山に登り、生まれて初めて本州を眺めた所である。北海道では旧街道を走らないが、各地に思い出の場所があり、楽しみながら走ることができることを期待している。

奥州街道(日本橋～龍飛崎、833.9km)は、1999年8月7～15日に日本橋～三戸、2000年5月3～5日に三戸～青森～龍飛崎を走った。東海道(日本橋～三条大橋[または大阪・京橋口])は1992年以降、田中義巳さんのジャーニーランで10回完走しており、そのほかに部分的には何度も走っている。山陽道(三条大橋～下関、603.2km)は1999年4月29日～5月5日に走った。西海道(下関～佐多岬、516.9km)は1999年12月29日～2000年1月4日に走った。2000年1月4日、佐多町役場前をまだ暗い4:50にスタート。当時のロードパークには「自転車と歩行者は通行禁止」と表記されていた。ランナーの走行は禁止されていなかったおかげで無事に7:43に佐多岬に到達し、暖かい日差しを浴びながら開聞岳を眺めた。今回も充実した気持ちで佐多岬からの眺めを堪能したい。

昨年からは埼玉県川越市のN氏に協力して、全国の旧街道地図を作成中であり、青森～鹿児島に関しては、街道地図の確認と地図作成のための情報収集の旅となる。したがって、今回の日本縦断走り旅のあとは、街道地図の整理で多忙な日々を迎えることになりそうだ。

大陸横断レースとしては、北米大陸横断レース(LA-NY)を2002年と2011年の2回走り、去年はトランスヨーロッパ・フットレースでデンマーク・スカーイェン～スペイン・ラリネアを走った。これからも大陸横断レースがあれば参加したい。しかし、現時点では企画されていないようなので、取りあえずは2014年8月24-29日に、ベルリン市内を流れる川沿いの道を走る Spreelauf(408km)という大会に参加する。

国内では来年4月に「さくら道」、5月に「菽往還」に参加し、8月6-9日には10回目となる「広島-長崎リレーマラソン」を開催・参加する。走れるうちは走り、走れなくなったら歩き、歩けなくなったらインターネット上で日本各地・世界各地を動き回りたい。